

第309回:人民解放軍の再編

いまや旧聞となってしまったが、3 か月ほど前の9月3日、中国の首都北京で「抗日戦争勝利70周年」の軍事パレードが挙行された。不幸なことに日中両国は70数年前に干戈を交え、当時日本軍が戦った主たる相手は蒋介石率いる国民党軍であった。あのころ毛沢東の共産党軍は、彼が「遊撃戦論」で述べているように、日本軍が相手にしない辺鄙な地にアジトを構え、たまに日本のちっぽけな小隊や分隊がパトロールにやって来ると、すたこらさつと隠遁の術、そんな活動をゲリラ戦と称し、日本が草臥れるのを待っていた。だから共産党筋から、勝った、勝った、70年だ、マンセーと云われてもねえ。もっとも中国の9月3日は大変めでたい歴史的な祝日らしいので、余計なカパチをたれるのは、ここまでにしよう。

あの日の北京は、直前の交通規制や周辺工場の一時閉鎖等の強制措置が功を奏し、まるでハワイのような「パレードブルー」、北京汚天をハワイ青天に変えるとは、ゼンジー北京もマッサオなマジックであった。そんな奇跡的な快晴の下、市内を東西に突き抜ける長安街では、1万人を超える中国人民解放軍(PLA)の烏合の、もとい精鋭が軍靴を響かせ行進した。パレードでは戦闘機200機あまりの飛行や、戦略ミサイル、初公開のハイテク武器など500点を超える軍装備が披露され、中国の軍事大国ぶりを内外に誇示した。

ところで中国には随分大勢の軍事ヲタクがいるらしく、軍事専門サイトにはパレードの写真がぎっしり並び、誰が調べたのか指揮官や兵器も紹介されている。そんなサイトをじっくり眺めていたら、習近平軍事委員会主席に敬礼する戦闘車両上の指揮官の中に、懐かしい知人の姿を発見し、ぎょっとした。彼の後ろに兵器を搭載した大型トラックが続き、習主席の前を通過するとき、彼が何やら叫んで敬礼している。パレードに登場する指揮官はみな拳銃を吊り、戦闘服にヘルメットという出で立ちだから、てっきり部隊長クラスかと思っていたら少将だった。そして彼が率いるハイテク兵器を見た瞬間、彼の軍務が瞬時に分かった、いやはや。

しかし画像を見る限り、晴れ舞台の主役である習近平主席は始終冴えない表情であった。特別車に搭乗して解放軍の隊列を検閲したときも、歴史的イベントを主催する高揚感は全く見られず、終始草臥れ果てたご様子。PLA だけでなく、国内のメディアまで総動員して PR に務め、長時間かけて準備した大プロジェクトにも拘わらず内外から多くの批判が寄せられ、先進主要国が参加しなかったことは、指導部にとって想定外の衝撃だったようだ。

英仏独だってバカではない、おいしい話と、やばい話は区別する。アジアインフラ投資銀行に出資するから、軍事パレードにも当然参加すると思われたら迷惑だ。習主席の表情には、二流どころの来賓しか来てくれなかった悔しさが滲み出ているような気がする。因みに天安門の顔触れは習近平を真ん中にして、右側に目の上のたんこぶの江沢民、胡錦濤、李鵬等の党長老、左側はプーチンに朴槿恵。朴さんが戦勝国として参加したこと??はともかく、習さんの顔色が冴えなかったのも宜なるかな。

消息筋によると、腐敗追放キャンペーンで多くの恨みを買ってしまった習近平さん、最近では暗殺を警戒してストレスが溜まっているとか。殺人武器が総登場する軍事パレードは確かに怖い。閱兵中の習さんも、

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

1/3

戦車や装甲車の砲塔の向きが気になって仕方なかったに違いない。もしも戦闘機が向きを変えてこっちに飛んできたらイヤだろうな。なにせ制服組のトップとして、つい最近まで PLA に10年も君臨してきた二将が習近平によって肅清され、「東北の虎」徐才厚上將は、今年恨みを呑んで憤死し、もうひとりの「西北の狼」郭伯雄は牢屋にぶち込まれたばかりだ。彼らの子飼いの将兵の動きが気になるのは当然だ。

この軍事パレードで、習近平は PLA を 30 万人削減する方針を示し、軍再編への取り組みが明らかになった。国営新華社通信によれば習主席は軍の組織を大幅に再編する方針を明らかにしており、その狙いは「一流の戦闘部隊の編成」にあり、2020 年までに統合指揮制度を確立するそう。

そもそも PLA を築き上げたと言われる彭徳懷や賀龍たちは肉切り包丁や鋤を手に立ち上がった貧農の出自であり、軍隊の編成ができるわけもなく、党は劉伯承や聶榮臻たちをソ連のフルンゼ軍事学院や赤軍学校に留学させ、旧ソ連のシステムを基礎として軍事組織をつくった。

ところがソ連型システムは軍事テクノロジーが長足の進歩を遂げたいまの時代には合わなくなっており、作戦の指揮能力向上と、運用の効率化を目指す習近平はどうやら米軍の統合参謀本部型の組織を考えているようだ。世界の海軍が聯合艦隊の時代から、強襲揚陸艦を主体に海兵遠征隊を積み込み、特殊戦闘能力を兼ね備えた「遠征打撃軍」に変わりつつあるように。

現状の7大軍区は、地上戦のみを想定した軍区であり、全面戦争時代のタンネンベルグでは効果を発揮するかもしれないが、局地戦の時代には明らかに合わない。PLA が将来の作戦として陸軍を中心に、海軍、空軍、第二砲兵軍が参加する統合運用を展望しているのであれば、現状の「7つの軍区」を「4つの戦区」に統廃合する可能性は大いにある。中国の仮想敵国が、①北のロシア、②東の日米、③南のインド・ベトナム、④西の中東地域にあることから妥当な区分だろう。

ところで失脚した東北の虎と、西北の狼の罪状の一つが「階級の売買」だ。一説によると少将が1000万元(1元=20円)、中將になるには3000万元の賄賂が必要だったとか。そんな師団長や軍団長が指揮する軍隊って強いのだろうか？ 仏つくって魂入れずでは組織再編の意味がないような気がするが。

過去の PLA 大幅再編といえば、1985年に鄧小平の主導で行われた軍管区を11から7に統廃合された再編を思い出すが、このとき約100万人の兵士が職を失い、大きな社会問題となったことがあり、この辺の目配りも大事である。特に経済成長率が下降気味のいまの時期には。(了)

文中の見解は全て筆者の個人的意見である。

平成27年11月30日

筆者プロフィール

杉野光男

東洋証券株式会社 主席エコノミスト

一橋大学商学部卒、三菱信託銀行(現三菱 UFJ 信託銀行)入社、上海華東師範大学へ留学

同行北京駐在員、上海駐在員事務所長、理事中国担当部長を経て、2007年より現職

著書 日本の常識は中国の非常識(時事通信社)、中国ビジネス笑劇場(光文社)等

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

2/3



東洋証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第121号

日本証券業協会 加入

本社所在地 〒104-8678 東京都中央区八丁堀 4-7-1 TEL03-5117-1040

ご投資にあたっての注意事項

手数料等およびリスクについて

① 株式の手数料等およびリスクについて

- 国内株式の売買取引には、約定代金に対して最大 1.2420% (税込み)、最低 3,240 円 (税込み) (売却約定代金が 3,240 円未満の場合、約定代金相当額) の手数料をいただきます。国内株式を募集、売出し等により取得いただく場合には、購入対価のみをお支払いいただきます。国内株式は、株価の変動により、元本の損失が生じるおそれがあります。
- 外国株式等の売買取引には、売買金額 (現地における約定代金) に現地委託手数料と税金等を買の場合には加え、売りの場合には差し引いた額) に対して最大 0.8640% (税込み) の国内取次ぎ手数料をいただきます。外国の金融商品市場等における現地手数料や税金等は、その時々々の市場状況、現地情勢等に応じて決定されますので、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。外国株式は、株価の変動および為替相場の変動等により、元本の損失が生じるおそれがあります。

② 債券の手数料等およびリスクについて

- 非上場債券を募集・売出し等により取得いただく場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、元本の損失を生じるおそれがあります。外国債券は、金利水準の変動等により価格が上下するほか、カントリーリスク及び為替相場の変動等により元本の損失が生じるおそれがあります。また、倒産等、発行会社の財務状態の悪化により元本の損失を生じるおそれがあります。

③ 投資信託の手数料等およびリスクについて

- 投資信託のお取引にあたっては、申込 (一部の投資信託は換金) 手数料をいただきます。投資信託の保有期間中に間接的に信託報酬をご負担いただきます。また、換金時に信託財産留保金を直接ご負担いただく場合があります。投資信託は、個別の投資信託ごとに、ご負担いただく手数料等の費用やリスクの内容や性質が異なるため、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とするため、当該金融商品市場における取引価格の変動や為替の変動等により基準価格が変動し、元本の損失が生じるおそれがあります。

④ 株価指数先物・株価指数オプション取引の手数料等およびリスクについて

- 株価指数先物取引には、約定代金に対し最大 0.0864% (税込み) の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。
- 株価指数オプション取引には、約定代金、または権利行使で発生する金額に対し最大 4.320% (税込み)、最低 2,700 円 (税込み) の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。株価指数先物・株価指数オプション取引は、対象とする株価指数の変動により、委託証拠金の額を上回る損失が生じるおそれがあります。

ご投資にあたっての留意点

取引や商品ごとに手数料等およびリスクが異なりますので、当該商品等の契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、目論見書、等をよくお読みください。

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

3/3



東洋証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第121号
日本証券業協会 加入
本社所在地 〒104-8678 東京都中央区八丁堀 4-7-1 TEL03-5117-1040